

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団
2023年度 事業計画

2023年度 事業計画

2023年度は出捐会社第一三共からの寄付金が増額となることから、財団運営における財務3基準の遵守、実現可能性を考慮し、研究奨励金等の増額・増枠(小児臨床薬理学枠を含む)、若手研究支援の新設を計画した。

1) 研究奨励金等交付金の交付

合計 10,900万円

選考委員会で選考され、理事会で決定された交付対象者に研究奨励金等を交付する。

なお、募集に関する必要事項については選考委員会に一任することとする。

① 募集方法

募集案内を全国の研究機関に送付、また学術雑誌、関連学会、財団 Web サイトに掲示

② 応募資格

- ・研究奨励金：臨床薬理研究に従事、またはそれを志す45歳未満の研究者。
- ・海外留学助成金：臨床薬理研究を志す45歳未満*で、海外での研究を希望する者。
*医師の卒後専門医制度プログラムの変更に伴い、現在の40歳未満では機会が少ないと判断し、年齢上限を変更することにより応募者増を期待する。
- ・若手研究支援：40歳未満の臨床薬理研究に従事、またはそれを志す国内の研究者で実施責任者。臨床薬理研究へのステップを前提とした基礎研究も対象とする。

③ 推薦者

- ・研究奨励金：所属機関長（学長、学部長、研究科長、病院長、研究所長等）、財団理事、評議員、顧問。教授の役職名では推薦できない。
推薦件数は1推薦者1件とする。ただし、小児臨床薬理研究については1推薦者につき別途1件の推薦が可能とする。
- ・海外留学助成金：所属機関長*（学長、学部長、研究科長、病院長、研究所長等）、財団理事、評議員、顧問。教授の役職名では推薦できない。
推薦件数は1推薦者1件とする。
*現在の財団理事、評議員、顧問、選考委員並びに選考委員会において選定された臨床薬理学に造詣の深い学識経験者（非公開）から上記に変更し、応募者増を期待する。
- ・若手研究支援：教授等の組織長、推薦件数は1推薦者1件とする。

④ 募集期間：6月～8月

⑤ 交付件数および交付額

・研究奨励金(小児臨床薬理学枠含む)	27名程度(1名 300万円)	8,100万円
・若手研究支援	6名程度(1名 50万円)	300万円
・海外留学助成金		2,500万円
2023年度交付対象者	2名(1名 750万円/年)	
2022年度からの継続交付対象者	2名(1名 500万円/年)	

2) 2023年度(第34回)財団賞の交付 合計 800万円

財団賞選考委員会で選考され、学会および財団理事会で承認決定された交付対象者に第44回日本臨床薬理学会学術総会(神戸、2023年12月)において盾を授与すると共に、研究奨励金等を交付する。

① 募集方法：学会Webサイトおよび学会機関誌「臨床薬理」に募集案内掲載

② 募集期間：2023年4月～6月

③ 交付件数

・学術奨励賞(研究奨励金)	2名(各300万円)	600万円
・学術論文賞(副賞)	3名(各50万円)	150万円
その他の経費：選考委員会開催費用等		50万円

3) 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊 作成費合計 910万円

① No. 44 発刊

編集会議(4月開催)等を経て2023年6月発刊し、全国約1,800か所に送付する。

掲載論文	2020年度研究奨励金交付論文	16編
	2019年度研究奨励金交付論文	3編
	平成30年度研究奨励金交付論文	1編
	海外留学助成金報告	2編
	計	22編

② No. 45 発刊準備

研究論文等の入手を2023年8月より開始する。

掲載論文	2021年度研究奨励金交付論文	20編
	2020年度研究奨励金交付論文	4編
	海外留学助成金報告	2編
	計	26編

4) 第16回 研究報告会の開催 開催費用合計 930万円

日時：2023年11月14日(火)

場所：経団連会館

出席者：理事、監事、評議員、選考委員、全国の臨床薬理研究に関する有識者、第16回 研究大賞受賞者、第一三共(株)研究開発部門 等

スケジュール（案）：

- 14:00～15:00 理事会
- 15:30～19:30 研究報告会
 - 第1部 研究大賞受賞者表彰式
 - 第2部 研究報告会
 - 第3部 情報交換会

5) 第7回 臨床薬理学集中講座の開催 開催費用合計 730万円

2022年度の臨床薬理学集中講座は、2021年度に続きWEB開催として実施し、進化を遂げた。2023年度も過去2回の経験および昨今の受講者ニーズを活かしWEB開催とする他、ファシリテータ2名体制の2回の事前WEB会も開催する。

開講の趣旨：

医療の中で薬物療法とそれを支える臨床薬理学の重要性が益々高まっており、臨床薬理学の将来を担う人材の育成が求められている。本講座は、若手の医師および薬剤師等が臨床

薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信のできる医療従事者・研究者の育成を目指して開講する。

開催日時：2023年9月3日(日) 9:00～18:00

開催方法：WEB開催

内 容：講義として従来の「臨床薬理学とは」、「臨床試験デザイン」、「研究倫理」、「生物統計学（基礎編）」、「薬理遺伝学」、「医薬品有害反応」、「薬物相互作用」、「バイオマーカー」、「臨床薬物動態学と薬物投与設計」、「医薬品開発・レギュラトリーサイエンス」の10講座に「生物統計学（実践編）」を追加するとともに1講座あたりの講義時間を60分以内に変更。加えて演習として「臨床試験企画立案演習」を実施する。

募集人数：40名程度

その他：受講修了者のネットワーク形成を支援するため、2023年12月に開催される日本臨床薬理学会学術総会(神戸)の会期中に、集中講座受講者を主な対象としたフォローアップセミナーを開催することを計画している。同フォローアップ対策費用も2023年度収支予算として計上している。

6) 財団設立50周年記念事業 合計 1,190万円

年間3回の検討委員会（うち2回はWEB開催）並びに5回の個別会合の実施を予定している。また、記念事業の検討にあたり企画、業務推進管理、会合業務推進等の業務協力をメディカルクオール株式会社に委託し、効率的な推進を図る。

- ・業務委託費（企画、業務推進管理、会合業務推進等） 900万円
- ・検討会費用（検討委員会×3回、個別会合×5回） 190万円
- ・積立金 100万円

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団2023年度収支予算(損益計算方式)

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計予算額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,948,800	7,795,200	9,744,000
基本財産受取利息	1,948,800	7,795,200	9,744,000
② 受取寄付金	182,000,000	18,000,000	200,000,000
受取寄付金	182,000,000	18,000,000	200,000,000
③ 雑収益	1,000	0	1,000
受取利息	1,000	0	1,000
経常収益計	183,949,800	25,795,200	209,745,000
(2) 経常費用			
① 事業費	(189,760,000)	(0)	(189,760,000)
給料手当	7,680,000		7,680,000
業務委託費	17,610,000		17,610,000
研究奨励金	84,000,000		84,000,000
海外留学助成金	25,000,000		25,000,000
財団賞	8,000,000		8,000,000
会議費	1,632,000		1,632,000
旅費交通費	5,259,000		5,259,000
広告費	492,000		492,000
諸謝金	3,820,000		3,820,000
賃借料	7,130,000		7,130,000
印刷製本費	9,331,000		9,331,000
通信運搬費	320,000		320,000
研究報告会費	9,293,000		9,293,000
集中講座費	7,308,000		7,308,000
50周年記念事業	2,885,000		2,885,000
② 管理費	(0)	(14,637,000)	(14,637,000)
役員報酬		2,105,000	2,105,000
給料手当		1,920,000	1,920,000
業務委託費		1,406,000	1,406,000
福利厚生費		1,500,000	1,500,000
会議費		826,000	826,000
旅費交通費		1,854,000	1,854,000
諸謝金		222,000	222,000
調査費		51,000	51,000
図書費		10,000	10,000
賃借料		1,782,000	1,782,000
消耗什器備品費		100,000	100,000
消耗品費		300,000	300,000
印刷製本費		240,000	240,000
通信運搬費		570,000	570,000
減価償却費		1,009,000	1,009,000
支払会費		432,000	432,000
租税公課		10,000	10,000
雑費		300,000	300,000
経常費用計	189,760,000	14,637,000	204,397,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,810,200	11,158,200	5,348,000
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,810,200	11,158,200	5,348,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	5,810,200	△ 5,810,200	0
当期一般正味財産増減額	0	5,348,000	5,348,000
一般正味財産期首残高	7,008,367	95,932,479	102,940,846
一般正味財産期末残高	7,008,367	101,280,479	108,288,846
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	195,057,442	770,741,558	965,799,000
指定正味財産期末残高	195,057,442	770,741,558	965,799,000
III 正味財産期末残高	202,065,809	872,022,037	1,074,087,846